

ツェルニン宮コレクション 解説

小島 優子

Yuko Kojima

ヘーゲルは、1824 年 9 月 27 日の午後、ツェルニン宮のコレクションを見たことを、翌 28 日に妻宛てに手紙に記している (Briefe, III:62)。ツェルニン侯は 1795 年にウィーンの Wallnerstraße の宮殿を購入し、1800 年頃から絵画蒐集を行っていた¹。ツェルニン侯が巨匠の絵画蒐集で世界的な評判を得るのには 20 年もかからなかった。その後、Josefstadt のツェルニン宮の絵画館は 1954 年まで開館していた。1980 年にツェルニン宮の絵画館の 41 点の絵画を、ザルツブルクレジデントスが購入した。

KATALOG Graf Czernin'schen Gemälde-Galerie in Wien, 1899 の絵画 343 点の中で、ヘーゲルが美学講義、および書簡で言及している画家は、以下の 16 人である。() 内には記載されている絵画の点数を記す。

Pompeo Girolamo Battoni (1)※, Annibal Caracci (2), Caravaggio (1), Anton van Dyck (6), Albrecht Dürer (1), Eyck (1), Marc Antonio Franceschini (1), Michel Angelo (2), Bartholomäus Murillo (2), Adrian van Ostade (2)※, Anton Raphael Mengs (3), Rembrandt von Rhyn (1)※, Guido Reni (3), Peter Paul Rubens (3)※, David Teniers der Jüngere (4)※, David Teniers der Aeltere (1), Titian (3)

このうち、現在、ザルツブルクレジデントに現在所蔵されている作品のある画家は※を付した 5 人である。(Roswitha Juffinger, Residenzgalerie Salzburg, *Gesamtverzeichnis der Gemälde*, Salzburg 2010)。

¹ Vgl. Christoph Brandhuber, “Johann Rudolph Graf Czernin von Chudenitz(1757-1845) Ein Leben für Künste”, Roswitha Juffinger, *Residenzgalerie Salzburg: Gesamtverzeichnis der Gemälde*, Salzburg, 2010, S.444.